

きららと輝く 民医連職員めぐりして

同仁会事務集会(1〜2年目・振り返り)を昨年12月9日(土)にみみはらホールで開催し、7人から報告がありました。

最初に同仁会事務委員会を代表して清水琢人事部長から「職員が求められる3つの役割(正確な実務、連携の要、運動の組織者)」が紹介されました。まずはDVDを使って憲法を学び、集会での憲法9条改憲NOアピールを確認しました。



その後、1〜2年目の振り返り発表が行われました。



山内康暢さん
(総合医局事務課)



石井彩奈さん
(みみはら鳳クリニック)

総合病院医局事務課1年目山内康暢さんからは、「医師確保のための取り組みについて」。既卒医師のサポート担当を担っており、常勤医師からの聞き取りをもとに、医師紹介企業へ直接出向き、耳原総合病院のプレゼンテーションを行うなど、医師確保に取り組んでいること、また当院卒業生の現状も把握し、約束を取りながら地方に向いて、「直依頼を含め、将来的に当院に戻ってきてもらうよう働きかけている等、医師確保に貢献出来ているとの報告でした。耳原鳳クリニック2年目の石井彩奈さんからは、これまでのクリニックでの多岐にわたる事務経験の報告です。これまでを振り返り「聞く力、伝える力」「人と人を繋ぐ力」「患者さんに寄りそう力」のこの3つの力を学び、今後具体的に動くためには常に原点に立ち回り、「事務とは何か?事務であるからいそ出来ること」を考

同仁会グループ 事務集会



清水琢人事部長

え、多職種との連携を大切に、他のスタッフの動きや働きに注目しながら介入していくと決意が述べられました。

他に5人(計7人)の発表があり、いずれもこの間の自分たちの取り組みが紹介され、着実に成長している姿を改めて感じることができました。

また、ジャンボリー事務局の角野佳奈子さん(総合病院医局事務課)から、この間の取り組みが報告され、ジャンボリー活動への青年職員が減ってきていること、青年職員が積極的にジャンボリー活動に関わってもらうためにも、事業所・職場での協力について訴えがありました。

そして、「他の職種から事務職



最後に、渡邊孝晴副専務理事が、「しくも、どこでも、だれもが安心してつけられる医療と福祉を実現する為に、様々な職種と一緒に、一人の患者さんのために力をあわせて、地域の人々と力を合わせて『医療・介護の改善』『社会保障の拡充を実現する』ために、民医連事務職員が求められる役割を今一度確認し、課題や成果を共有することができました」と今集会を振り返っていたいただきました。

(同仁会事務委員会)

【当日の発表者】

- 大川 尚輝さん (総合病院医局事務課) 『8か月を振り返って』
- 田村 萌さん (同仁会本部総務部) 『1年目振り返り』
- 山内 康暢さん (総合病院医局事務課) 『同仁会耳原総合病院入職〜今日までの活動・今後の目標について』
- 石井 彩奈さん (耳原鳳クリニック事務) 『2年目を振り返って』
- 阪口 和人さん (総合病院組織健診科) 『2年目を振り返って』
- 田中 千春さん (同仁会本部人事部) 『振り返り発表』
- 吉永 芙未さん (総合病院経営企画室) 『2年目振り返り発表』
- ジャンボリー事務局より 『ジャンボリー事務局より』
- 角野 佳奈子さん (総合病院医局事務課) 『ジャンボリーの危機』

シリーズ 現場からの 視点

その32



認知症介護、家族の接し方10カ条と認知症予防10カ条

きらきら保健介護予防教室③

- 〈認知症介護、家族の接し方10カ条〉
- ①なじみの関係
 - ②心の受容
 - ③心のゆとり
 - ④説得よりも納得
 - ⑤意欲の活性化
 - ⑥孤独にしない
 - ⑦人格の尊重
 - ⑧過去の体験は心のよりどころ
 - ⑨急激な変化を避ける
 - ⑩事故の防止…

- 〈認知症予防10カ条〉
- ①バランスのよい食事
 - ②適度な運動
 - ③規則正しい生活
 - ④生活習慣病の予防・早期発見・治療
 - ⑤転倒に気をつける
 - ⑥好奇心を持つ
 - ⑦考えをまとめ表現する
 - ⑧細かな気配りをする
 - ⑨おしゃべりを忘れない
 - ⑩よくよくしなごこ

耳原鳳クリニック4階で、毎月第4木曜日に開催している、きらきら保健介護予防教室。3カ月連続で実施した、認知症シリーズ第3弾は、耳原鳳クリニック 小川師長に「認知症の介護・認知症予防」について話していただきました。

「こんな風に、教室に参加する意欲こそが、認知症予防には一番大切な事ですよ」との話に、「来年も参加できるように頑張りたい」と、皆さんの笑顔が見られました。 支援センター 甘田尚子

「皆さん、認知症のことで一番気になるのはどんなことですか?」と、小川師長の質問に、1人の参加者から「実は

「認知症の介護者のご苦労は、たいへんなものです。しかし、認知症という病気を正しく理解することにより、ちよつとした配慮や工夫ができる」という内容でした。

「認知症の介護・認知症予防」について話していただきました。

「認知症の介護・認知症予防」について話していただきました。

「認知症の介護・認知症予防」について話していただきました。